

**明治安田生命 2016年春の「新入社員」を対象に  
就職活動、働き方・お金に関する意識についてのアンケート調査を実施！**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、2016年春の「新入社員」を対象にアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

**■就職活動は「苦」あれば「楽」あり！？就職活動の「苦」「楽」をともにした新入社員に就職活動の実態を調査しました**

- 内定企業数は2.37社と4年連続増加し、2008年の当項目調査開始以降最高値を更新！  
男女別でも男性が2.44社、女性が2.29社とそれぞれ最高値を更新！
- 就職活動の満足度も過去最高値を記録した昨年とほぼ同水準の76.9%！  
特に女性は2008年の当項目調査開始以降で最高値となる77.5%を記録！
- 就職活動のスケジュールが変更されたことについて、ふたりにひとは「ネガティブな影響があった」と回答
- 就職活動を漢字一文字で自由に表現すると「苦」が1位、「楽」が2位！  
就職活動は「苦」あれば「楽」あり！？

（詳細はP4～8参照）

**■女性の上昇志向が高まる！？新入社員の働き方に関する意識を調査しました**

- 社会に出ることへの期待は「経済的自立」と「自己成長」。不安は「コミュニケーション」と「適性」。女性は男性よりも不安が多い結果に
- 仕事観は「平和主義」が減少傾向。男性は「理想主義」と「成功主義」が増加！！
- めざすポストは「社長」・「役員」よりも「部長」・「課長」！？  
女性の過半数が管理職をめざす！！

（詳細はP9～12参照）

**■新入社員のお金に関する意識を調査しました**

- 初任給の使い道は「両親へのプレゼント」がトップ！  
プレゼントに使う金額は約7,500円アップし、4.4万円に！！
- 1ヵ月あたりの貯蓄目標額は過去最高額の53,342円！  
女性も約3,500円アップし、初の5万円台に！！
- 30歳時点の目標年収は630万円、将来の目標年収は1,207万円！  
将来の目標年収は男女間で500万円の大きな開きが！！

（詳細はP13～17参照）

## 対象者の属性

1. 調査対象

今春就職を予定している新卒男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2016年1月8日（金）～1月18日（月）

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,112人

6. 回答者の内訳

(1) 回答者の性別(単位：人)

| 男性  | 女性  |
|-----|-----|
| 557 | 555 |

(2) 回答者の年齢(単位：人)

平均年齢：22.8歳

| 21歳 | 22歳 | 23歳 | 24歳 | 25歳以上 |
|-----|-----|-----|-----|-------|
| 166 | 498 | 171 | 132 | 145   |

## 【目 次】

|                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 就職活動の実態          |            |
| （1）内定企業数            | ・・・ 4 ページ  |
| （2）就職先を選んだ理由        | ・・・ 5 ページ  |
| （3）就職活動の満足度         | ・・・ 6 ページ  |
| （4）就職活動のスケジュール変更の影響 | ・・・ 7 ページ  |
| （5）就職活動を漢字一文字で表現すると | ・・・ 8 ページ  |
| 2. 新入社員の意識          |            |
| （1）社会に出ることへの期待と不安   | ・・・ 9 ページ  |
| （2）働き方のタイプ          | ・・・ 10 ページ |
| （3）めざすポスト           | ・・・ 11 ページ |
| 3. 新入社員のお金に関する意識    |            |
| （1）初任給の使い道          | ・・・ 13 ページ |
| （2）貯蓄目標額と貯蓄の理由      | ・・・ 15 ページ |
| （3）目標年収             | ・・・ 17 ページ |

## 1. 就職活動の実態

### (1) 内定企業数

内定企業数は2.37社と4年連続増加し当項目調査開始以降、最高値を更新！  
男女別でも男性2.44社、女性2.29社とそれぞれ最高値を更新！！

- 就職活動の実態として、まずは内定企業数について聞いてみました
- 2016年春の新入社員の内定企業数は、平均2.37社と4年連続増加し、2008年の当項目調査開始以降の最高値を3年連続で更新しました。男女別でも、男性2.44社、女性2.29社と、それぞれ最高値を更新しています
- 2015年度始の経済環境が良好であったこともあり、企業の採用意欲が高まっていたのではないのでしょうか。一方、2016年度は景気の先行き不透明感が強まっており、企業の採用意欲にも影響があるかもしれません
- また、就職活動にあたりエントリーした企業数は、昨年の平均22.3社から20.8社と減少しました。当項目は内定企業数と反比例する傾向で、2011年の当項目調査開始以降、毎年逡減しており、今年も最低値を更新しています。売り手市場となり、内定獲得へのハードルが下がるにつれて、エントリー企業数が減少するものと思われます

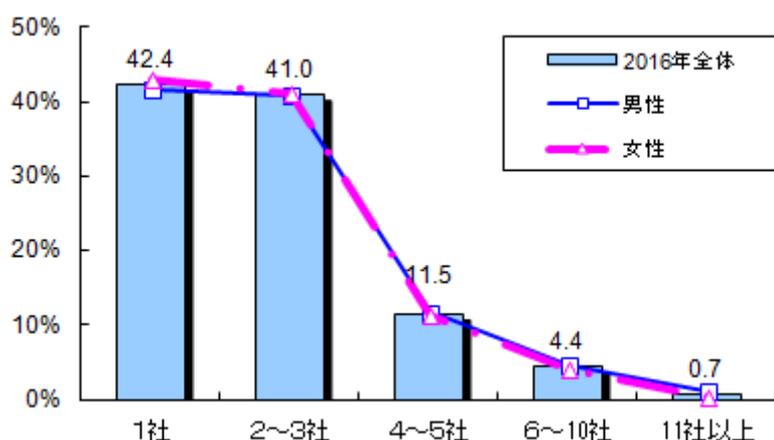
### ■ 内定企業数平均の推移

(社)

| 年  | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体 | 2.06  | 2.05  | 1.73  | 1.71  | 1.70  | 1.87  | 2.08  | 2.16  | 2.37  |
| 男性 | 2.19  | 2.26  | 1.87  | 1.80  | 1.85  | 1.97  | 2.21  | 2.18  | 2.44  |
| 女性 | 1.95  | 1.85  | 1.60  | 1.63  | 1.55  | 1.77  | 1.93  | 2.14  | 2.29  |

### ■ 内定企業数別の占率

調査開始以降の最高値を更新



### ■ エントリー企業数平均の推移

(社)

| 年  | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体 | 37.7  | 26.9  | 24.4  | 23.3  | 22.3  | 20.8  |

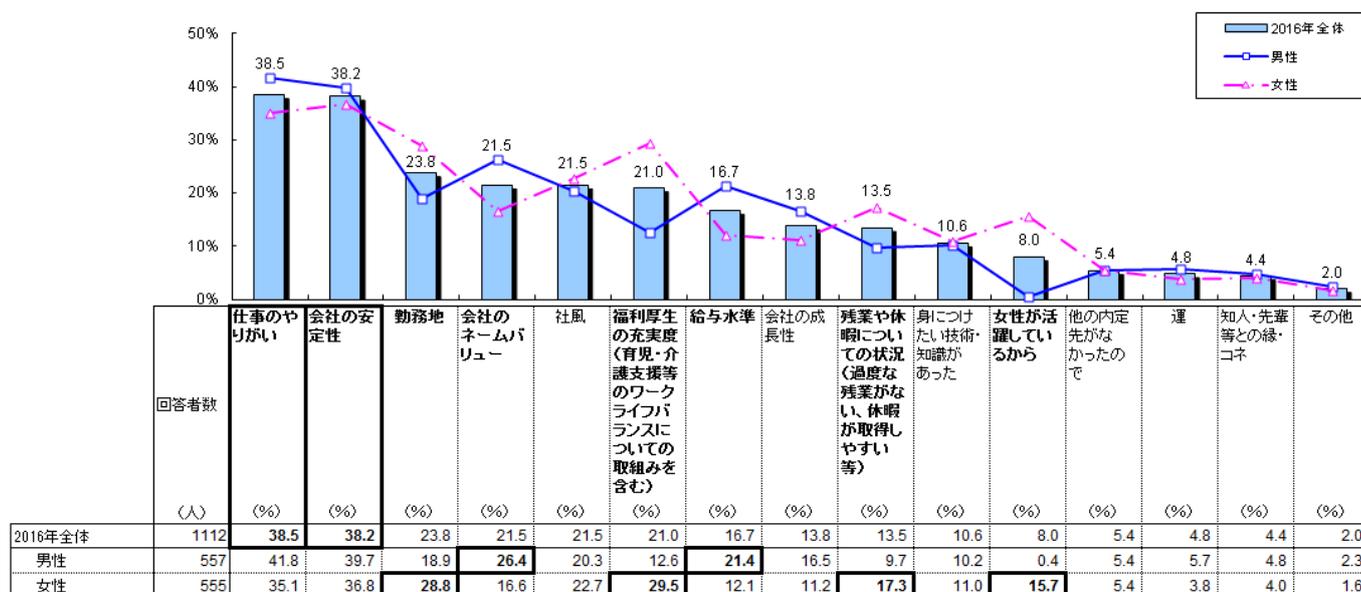
調査開始以降の最低値を更新

## (2) 就職先を選んだ理由

就職先を選んだ理由は「仕事のやりがい」が1位、「会社の安定性」が2位！

- 就職先を選んだ理由について聞いてみました
- 「仕事のやりがい」が38.5%で1位、「会社の安定性」が38.2%で2位となりました。2008年の当項目調査開始以降、この2項目が1位と2位を独占しています
- 男女別に見ると、男性では3位が「会社のネームバリュー」、4位が「給与水準」であることに対し、女性では3位が「福利厚生充実度」、4位が「勤務地」と男女の違いが表れています。男性は見栄やプライドが見え隠れする一方、女性からは「残業や休暇についての状況」や「女性が活躍しているから」といった項目もあげられており、働きやすい環境を重視して現実的に就職先を選んでいることがうかがえます

### ■ 就職先を選んだ理由（複数回答）



### (3) 就職活動の満足度

就職活動の満足度は過去最高値を記録した昨年とほぼ同水準の76.9%  
特に女性は77.5%と調査開始以降最高値を記録!

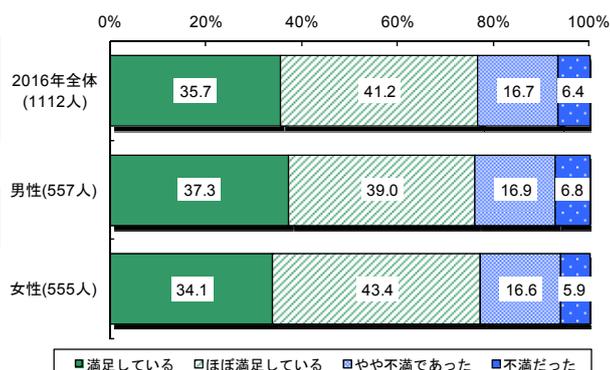
- 就職活動の満足度について聞いてみました
- 過去最高の内定企業数といった良好な採用環境を受け、就職活動の満足度（「満足」と「ほぼ満足」の合計）は、過去最高を記録した昨年とほぼ同水準の76.9%となりました。特に女性は2008年の当項目調査開始以降で最高値となる77.5%を記録しました
- 就職活動に満足した理由は、「働きたい会社に就職できたから」が61.6%と過去最高値を記録しました。その反面、かつては30%を占めたこともある「就職できただけでも良かった」は13.6%にとどまりました
- 一方、良好な採用環境のなかでは働きたい業種に就職できても満足できない学生が増えているようです。就職活動を不満（「不満」と「やや不満」の合計）とした理由の1位は「働きたい会社に就職することができなかった」で、この5年間で最高値の60.3%となりました

#### ■ 就職活動の満足度

|    | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年       |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 全体 | 77.0  | 74.9  | 69.2  | 69.6  | 68.3  | 72.9  | 72.4  | 77.1  | <b>76.9</b> |
| 男性 | 79.1  | 74.6  | 70.8  | 69.7  | 68.5  | 70.9  | 71.3  | 79.8  | 76.3        |
| 女性 | 75.0  | 75.0  | 67.7  | 69.5  | 68.1  | 74.8  | 73.6  | 74.4  | <b>77.5</b> |

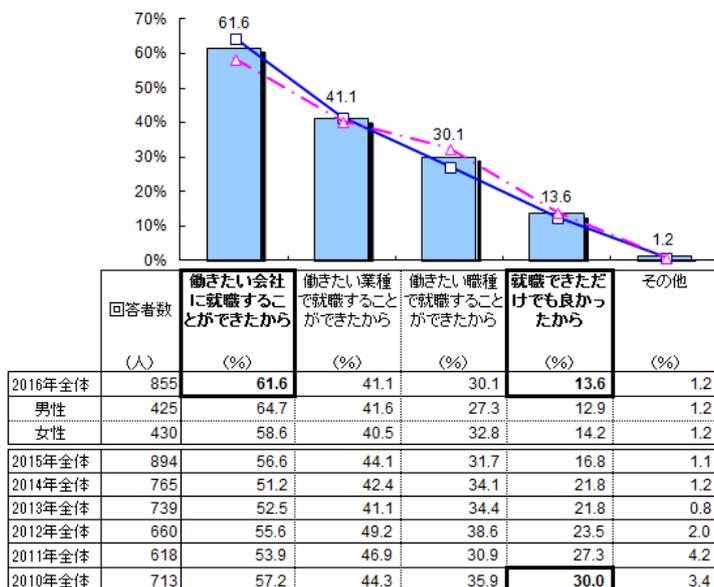
(%)

調査開始以降の最高値を更新

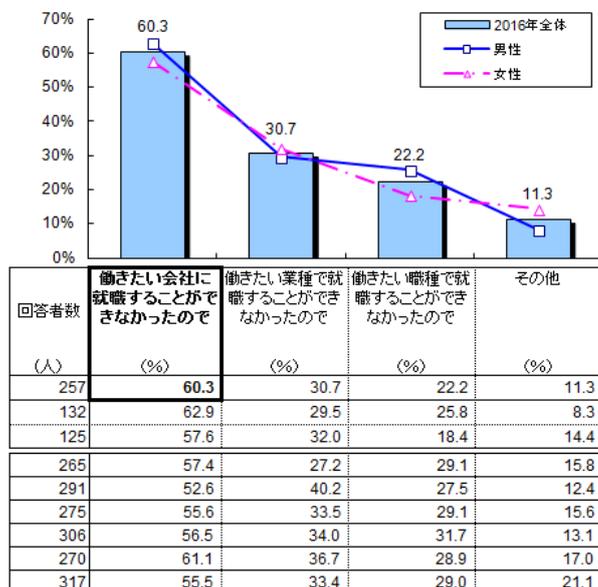


#### ■ 就職活動の満足・不満の理由（複数回答）

##### ● 満足の理由



##### ● 不満の理由

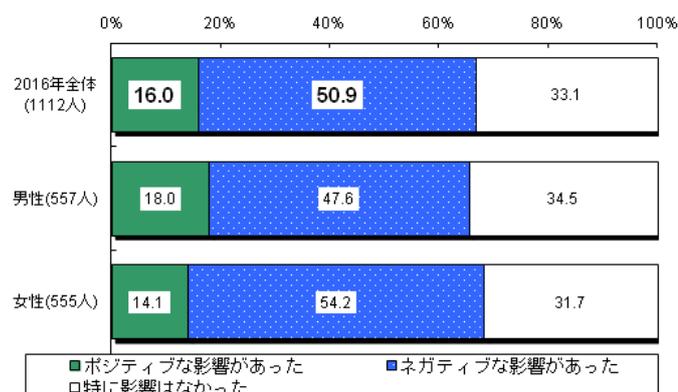


#### (4) 就職活動のスケジュール変更の影響

就職活動のスケジュールが変更されたことについて、  
ふたりに一人は「ネガティブな影響があった」と回答

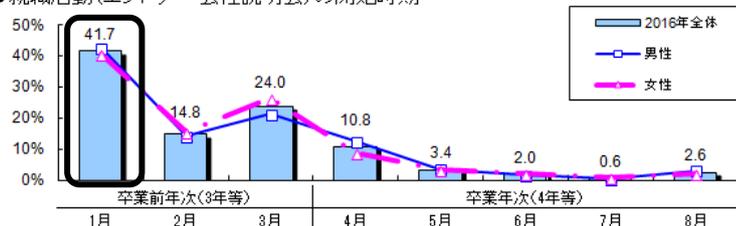
- 2016年春の新入社員の就職活動のスケジュールは、学業等への影響を考慮し、就職活動期間を短縮するために、選考開始時期が前年の4月1日から8月1日に変更となりました。そこで、スケジュール変更の影響について聞いてみました
- 「ポジティブな影響があった」は16.0%にとどまり、「ネガティブな影響があった」が50.9%に達しました
- 「ポジティブな影響があった」と回答した主な理由は、「自分のペースで活動できた」や「企業研究や自己分析等が十分できた」等があげられ、「ネガティブな影響があった」と回答した主な理由は、「学業や部活動に支障」、「スケジュールを立てづらい」、「長期化のため精神的・体力的に疲弊」等があげられています
- 就職活動のスケジュールについては、「就職活動の期間を短期化」し、「学業や部活動に専念」したいという短期集中を望む声が多く、「就職活動の開始時期」は1月から、「面接の解禁時期」は4月からを希望する声が多くなっています

#### ■ 就職活動のスケジュール変更の影響

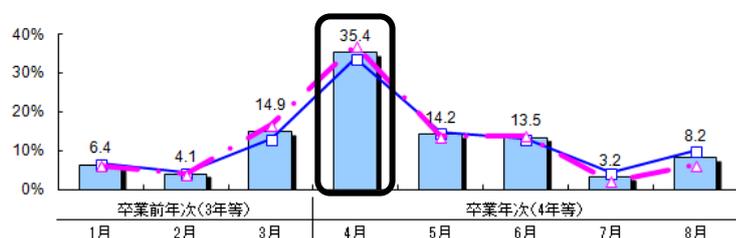


#### ■ 希望する就職活動のスケジュール

##### ● 就職活動(エントリー・会社説明会)の開始時期



##### ● 面接の解禁時期



(5) 就職活動を漢字一文字で表現すると

就職活動は「苦」あれば「楽」あり！？  
 就職活動を漢字一文字で自由に表現すると、「苦」が1位、「楽」が2位！

- 就職活動の「苦」「楽」をともしした新入社員に、就職活動を振り返り漢字一文字で自由に表現してもらったところ、1位が「苦」、2位は正反対の「楽」になりました
- 就職活動を「苦」と表現した新入社員  
 就職活動のスケジュール変更は「ネガティブな影響があった」が67%となりました。また、就職活動満足度を「不満」と回答した46%の新入社員は、平均20.8社を大きく上回る27.3社にエントリーしたものの、内定は平均2.37社を下回る1.86社にとどまり、文字通り苦しい就職活動になったようです（エントリー企業数・内定企業数の平均は4ページ参照）
- 「楽」と表現した新入社員  
 スケジュール変更は「特に影響はなかった」が半数を超え、平均を大きく下回る13.3社のエントリーで2.42社の内定を獲得し、結果として満足度も「満足」が96%となり、楽しく、楽な就職活動になったようです
- 3位の「忙」と表現した新入社員は平均の1.5倍の29.7社エントリーし、文字通り忙しく就職活動を行なったのに対し、4位の「疲」は平均を大きく下回るわずか14.7社のエントリーながら疲れてしまったようです。「忙」と「疲」では、内定数には開きがありませんが、活動量と印象に大きな違いが見受けられます

■ 就職活動を漢字一文字で表現すると

| 順位 | 一文字 | 回答数 | 順位 | 一文字 | 回答数 | 順位 | 一文字 | 回答数 |
|----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|
| 1  | 苦   | 112 | 4  | 疲   | 32  | 9  | 無   | 23  |
| 2  | 楽   | 76  | 5  | 辛・難 | 31  | 10 | 耐   | 21  |
| 3  | 忙   | 34  | 7  | 縁・成 | 26  |    |     |     |

・ 就職活動のスケジュール変更の影響

(人)

|   | 人数  | 影響       |                 |                 |
|---|-----|----------|-----------------|-----------------|
|   |     | ポジティブな影響 | ネガティブな影響        | 影響なし            |
| 苦 | 112 | 9 (8%)   | <b>75 (67%)</b> | 28 (25%)        |
| 楽 | 76  | 19 (25%) | 16 (21%)        | <b>41 (54%)</b> |

・ エントリー企業数・内定企業数

(人数：人、企業数：社)

|   |           | 人数              | エントリー企業数    | 内定企業数       |
|---|-----------|-----------------|-------------|-------------|
|   |           | 苦               | 112         | 24.3        |
|   | 満足        | 61 (54%)        | 21.8        | 2.77        |
|   | <b>不満</b> | <b>51 (46%)</b> | <b>27.3</b> | <b>1.86</b> |
| 楽 | 76        | <b>13.3</b>     | <b>2.42</b> |             |
|   | 満足        | 73 (96%)        | 13.2        | 2.45        |
|   | 不満        | 3 (4%)          | 17.3        | 1.67        |
| 忙 | 34        | <b>29.7</b>     | <b>2.50</b> |             |
|   | 満足        | 27 (79%)        | 30.7        | 2.48        |
|   | 不満        | 7 (21%)         | 25.9        | 2.57        |
| 疲 | 32        | <b>14.7</b>     | <b>2.31</b> |             |
|   | 満足        | 27 (84%)        | 14.6        | 2.37        |
|   | 不満        | 5 (16%)         | 15.6        | 2.00        |

エントリー・内定企業数が逆相関

エントリー企業数に大きな差

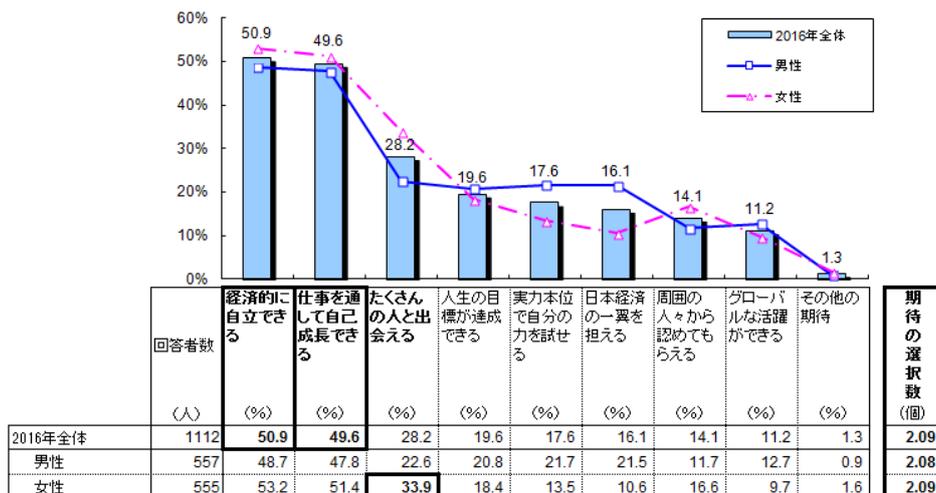
## 2. 新入社員の意識

### (1) 社会に出ることへの期待と不安

期待は「経済的自立」と「自己成長」、不安は「コミュニケーション」と「適性」  
女性は男性よりも不安が多い結果に

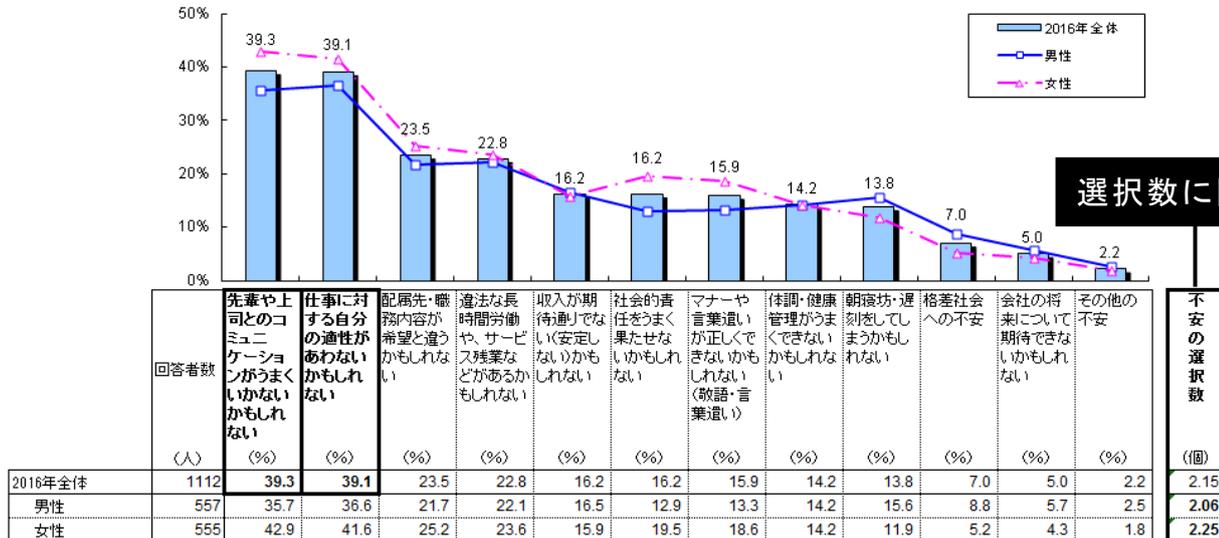
- 新入社員として社会に出ることへの期待と不安を選択肢から選んでもらいました
- 社会に出ることへの期待は、1位が「経済的に自立できる」50.9%、2位が「仕事を通して自己成長できる」49.6%となりました
- 女性は「たくさんの人と出会える」が男性よりも多く、人との出会いに期待を持っていることがわかります
- 社会へ出ることへの不安は、1位が「先輩や上司とのコミュニケーションがうまくいかないかもしれない」39.3%、2位が「仕事に対する自分の適性があわないかもしれない」39.1%となりました
- 本項目は選択肢の複数選択を可としたところ、「期待」の選択数に男女の差はありませんでしたが、「不安」は男性1人あたり2.06個に対し、女性は2.25個選択しており、女性はより多くの不安を感じているようです

#### ■ 社会に出ることへの期待（複数回答）



選択数は同水準

#### ■ 社会に出ることへの不安（複数回答）



選択数に開き

## (2) 働き方のタイプ

仕事観は「平和主義」が減少傾向！  
特に男性は「理想主義」「成功主義」が増加！

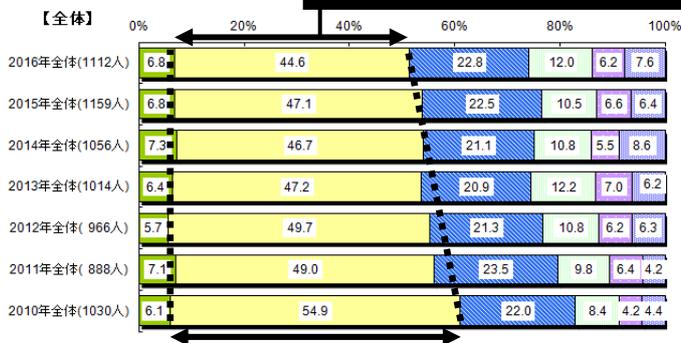
- 仕事観について、以下の6つの働き方のタイプから選択してもらいました

- 自分の理想を貫くために、上司の反対にも対抗する理想主義タイプ
- 職場の人間関係に重きをおき、自分の考えも修正する平和主義タイプ
- 成功のためなら、とことん頑張る成功主義タイプ
- 上司や会社の利益を第一に考え、自分を抑える忠実主義タイプ
- 失敗してもなんとかなるので、リスクがある仕事もやろうとする楽天主義タイプ
- 周りとの調和も関係なく、自分ひとりで仕事をしたい自力主義タイプ

- 「職場の人間関係に重きをおき、自分の考えも修正する平和主義タイプ」が減少傾向になっています
- 特に男性は、草食系男子という表現がありますが、今回の調査では「平和主義」が2012年から9.3ポイント減少するとともに、「自分の理想を貫くために、上司の反対にも対抗する理想主義タイプ」と「成功のためなら、とことん頑張る成功主義タイプ」の合計が7.6ポイント増加し、肉食系を想像させる結果が表れました

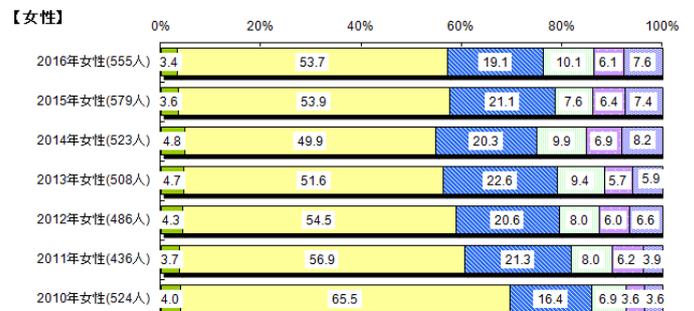
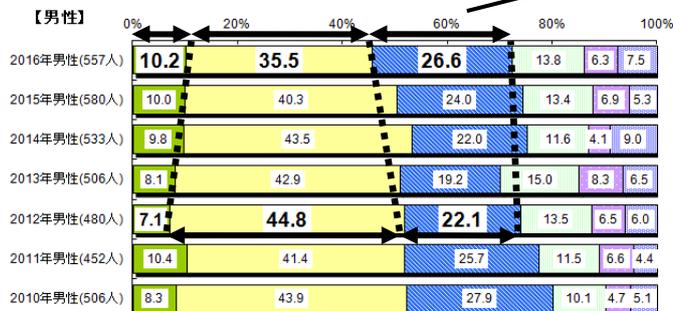
### ■ 働き方のタイプ

平和主義が減少傾向



- 理想主義タイプ
- 平和主義タイプ
- 成功主義タイプ
- 忠実主義タイプ
- 楽天主義タイプ
- 自力主義タイプ

理想主義、成功主義が増加傾向



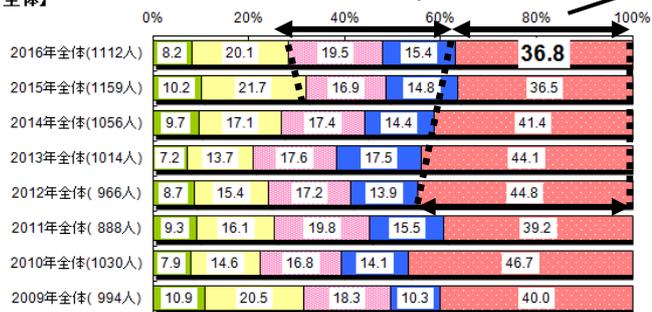
### (3) めざすポスト

めざすポストは「社長」・「役員」よりも「部長」・「課長」！？  
女性の過半数が管理職をめざす！！

- 将来めざすポストについて聞いてみました
- 「役職には興味がない」が昨年より微増し、36.8%で1位となりましたが、この5年間の趨勢としては減少傾向となっています
- 一方、めざすポストを「社長」・「役員クラス」とする人も減少し、「部長クラス」「中間管理職（課長など）」が増加傾向となっています
- 男女別では、男性は「社長」「役員クラス」が合計で5.4ポイント減少する一方、「部長クラス」が3.1ポイント、「役職には興味がない」が3.0ポイント増加しています
- 女性は「役職には興味がない」の減少傾向が顕著で、2012年の調査から5年間では「役職には興味がない」が13.9ポイント減少する一方、「役員クラス」「部長クラス」「中間管理職（課長など）」が合計14.5ポイント増加し、50.9%と過半数を超えています。女性活躍推進法の影響もあるのでしょうか
- めざすポストを選んだ理由について、「社長」は「目標を高く持ちたい」が79.1%とダントツになり、「給料が高い・収入が増えた方がいい」は19.8%にとどまりました。これに対し、「役員クラス」は同67.4%、48.2%、「部長クラス」は同42.9%、40.1%とポストが下がるにつれ、志よりも収入が理由となっています

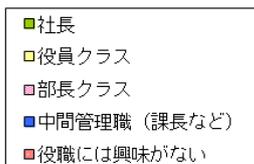
#### ■ 将来めざすポスト

【全体】

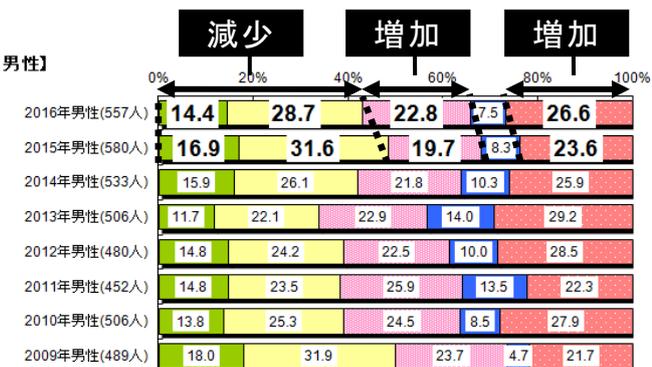


部長、中間管理職が増加傾向

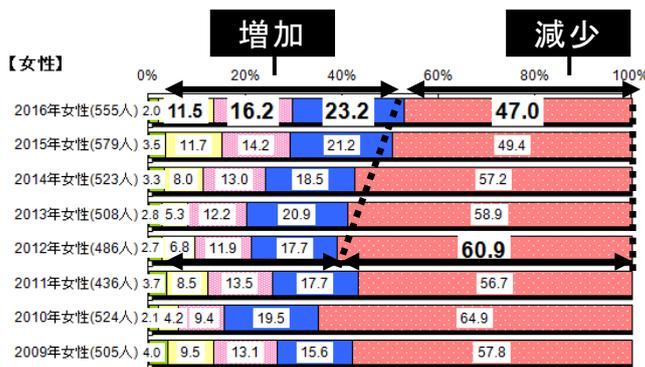
役職には興味がないが減少傾向



【男性】

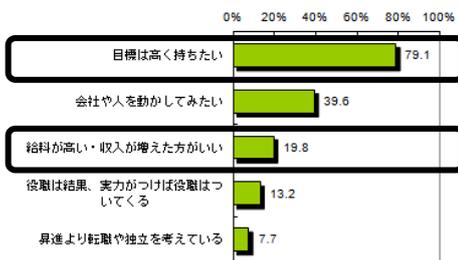


【女性】

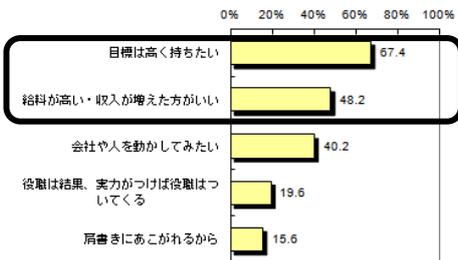


## ■ 将来めざすポストを選んだ理由（複数回答）

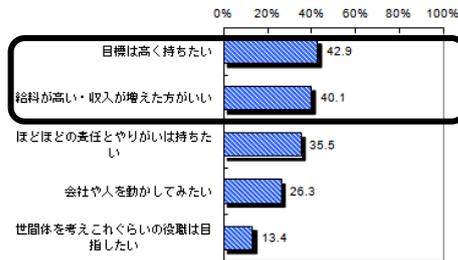
「社長クラス」理由(91人)



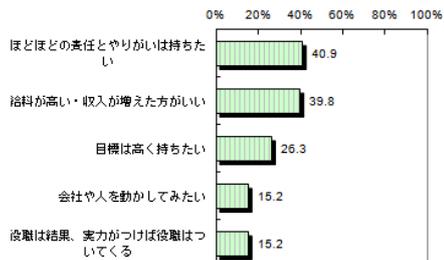
「役員クラス」理由(224人)



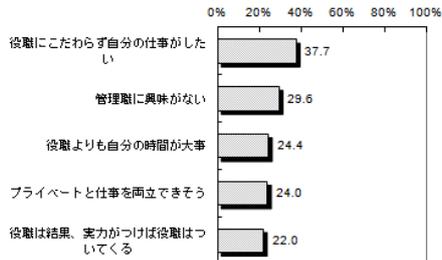
「部長クラス」理由(217人)



「中間管理職(課長など)」理由(171人)



「役職には興味がない」理由(409人)



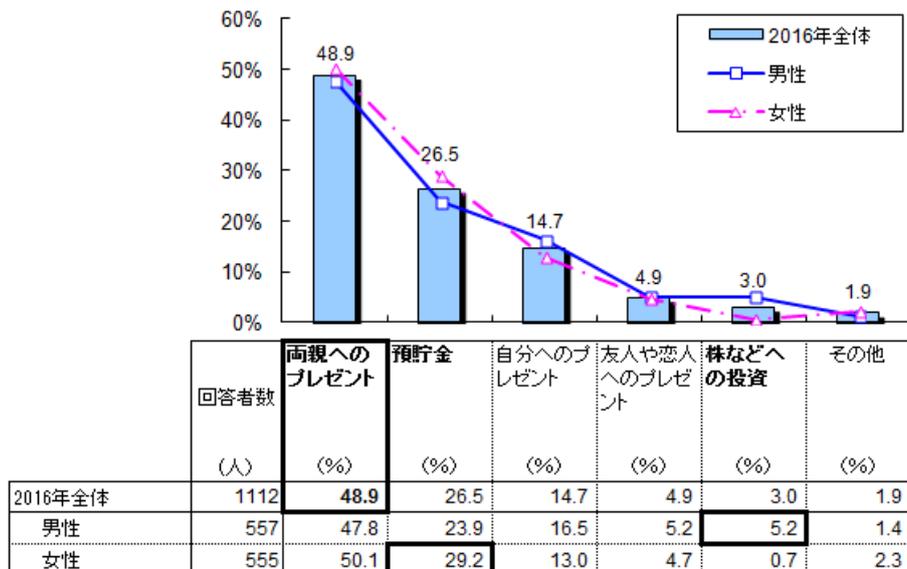
### 3. 新入社員のお金に関する意識

#### (1) 初任給の使い道

初任給の使い道は「両親へのプレゼント」がトップ！  
 プレゼントに使う金額は約7,500円アップし、4.4万円に！

- 社会人になって初めて手にするお給料を何に使いたいか、初任給の使い道について聞いてみました
- 1位は2009年の当項目の調査開始以降8年連続で「両親へのプレゼント」(48.9%)になりました
- 2位の「預貯金」は男性の23.9%に対して女性が29.2%となっており女性の貯蓄志向の高さがうかがわれる結果となっています。一方、「株などへの投資」は、男性が5.2%と、女性の0.7%を大きく上回っています
- 使う金額は平均約5,000円アップし、初の5万円台となりました。特に「預貯金」が約8,500円アップして69,515円、「両親へのプレゼント」が約7,500円アップして44,362円と、金額が大きく増えています
- なお、使う金額を将来めざすポスト別に比較すると、「中間管理職(課長など)」が44,520円に対し、「部長クラス」48,535円、「役員クラス」59,420円、「社長」が66,527円と、めざすポストが高くなるほど、金額も高い傾向になりました
- また、「社長」をめざす人は「預貯金」が際立って少なく、「両親へのプレゼント」が多くなりました。志が高く、両親への感謝の思いが強い素敵な新入社員ですね

#### ■ 初任給の使い道



初の5万円台。預貯金・両親へのプレゼントが増額

■ 初任給を使う金額

|              | 2009年   | 2010年   | 2011年   | 2012年   | 2013年   | 2014年   | 2015年   | 2016年   |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 全体           | 45,962円 | 43,261円 | 44,819円 | 40,937円 | 43,540円 | 45,670円 | 45,303円 | 50,402円 |
| 預貯金          | 62,512円 | 65,248円 | 66,568円 | 60,393円 | 66,123円 | 64,922円 | 60,991円 | 69,515円 |
| 株などへの投資      | 56,158円 | 55,063円 | 51,316円 | 57,364円 | 64,741円 | 58,121円 | 69,400円 | 56,182円 |
| 両親へのプレゼント    | 40,660円 | 34,910円 | 39,146円 | 35,704円 | 35,139円 | 37,305円 | 36,787円 | 44,362円 |
| 自分へのプレゼント    | 38,644円 | 35,263円 | 42,228円 | 32,753円 | 35,037円 | 35,517円 | 41,107円 | 40,311円 |
| 友人や恋人へのプレゼント | 28,936円 | 39,750円 | 26,195円 | 22,629円 | 23,327円 | 32,538円 | 33,000円 | 30,309円 |

■ めざすポスト別の初任給を使う金額

|             | 使う金額    |
|-------------|---------|
| 全体          | 50,402円 |
| 社長          | 66,527円 |
| 役員クラス       | 59,420円 |
| 部長クラス       | 48,535円 |
| 中間管理職（課長など） | 44,520円 |
| 役職には興味がない   | 45,325円 |

高いポストほど高額

社長をめざす人は、両親へのプレゼントが多く、預貯金が少ない

■ めざすポスト別の初任給の使い道

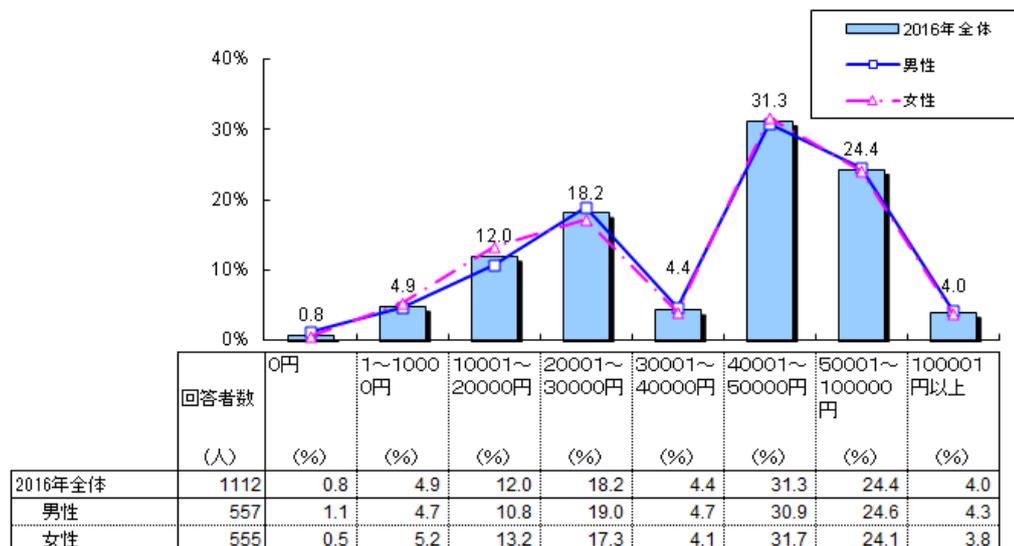
|             | 両親へ<br>プレゼント | 預貯金        | 自分への<br>プレゼント | 友人や恋人へ<br>プレゼント | 株などへの<br>投資 | その他      | 合計     |
|-------------|--------------|------------|---------------|-----------------|-------------|----------|--------|
| 全体          | 544人 (49%)   | 164人 (15%) | 55人 (5%)      | 295人 (27%)      | 33人 (3%)    | 21人 (2%) | 1,112人 |
| 社長          | 55人 (60%)    | 5人 (5%)    | 4人 (4%)       | 19人 (21%)       | 4人 (4%)     | 4人 (4%)  | 91人    |
| 役員クラス       | 114人 (51%)   | 39人 (17%)  | 13人 (6%)      | 52人 (23%)       | 5人 (2%)     | 1人 (0%)  | 224人   |
| 部長クラス       | 120人 (55%)   | 33人 (15%)  | 9人 (4%)       | 50人 (23%)       | 4人 (2%)     | 1人 (0%)  | 217人   |
| 中間管理職（課長など） | 87人 (51%)    | 25人 (15%)  | 9人 (5%)       | 46人 (27%)       | 1人 (1%)     | 3人 (2%)  | 171人   |
| 役職には興味がない   | 168人 (41%)   | 62人 (15%)  | 20人 (5%)      | 128人 (31%)      | 19人 (5%)    | 12人 (3%) | 409人   |

## (2) 貯蓄目標額と貯蓄の理由

1ヵ月当たりの貯蓄目標額は過去最高額の53,342円！  
女性も約3,500円アップして初の5万円台に！

- 毎月のお給料のうち、いくら貯蓄しようと考えているか目標額を聞いてみました
- 1ヵ月当たりの貯蓄目標額は過去最高額となる53,342円となりました。特に女性は、昨年の調査から約3,500円アップし、初の5万円台になりました
- 貯蓄をする理由としては「病気や事故の備えとして」が42.3%、「結婚資金として」が41.3%となりました
- 2010年調査時は、「将来給料が下がるかもしれないなど不安なので」が61.7%にもおよびましたが、年々低下し今年は37.9%でした。漠然とした不安に備える貯蓄が減少する一方、女性は「結婚資金として」や「旅行に行くため」、男性は「住宅購入資金として」や「高級品を買うため」等、具体的な使用目的に備える貯蓄が増えているようです
- 1月の調査時点ではアベノミクスによる景気回復の影響もあったのか、貯蓄目標額が過去最高となりました。来年の調査ではマイナス金利導入の影響が出てくるかもしれません

### ■ 1ヵ月当たりの貯蓄目標額ごとの占率

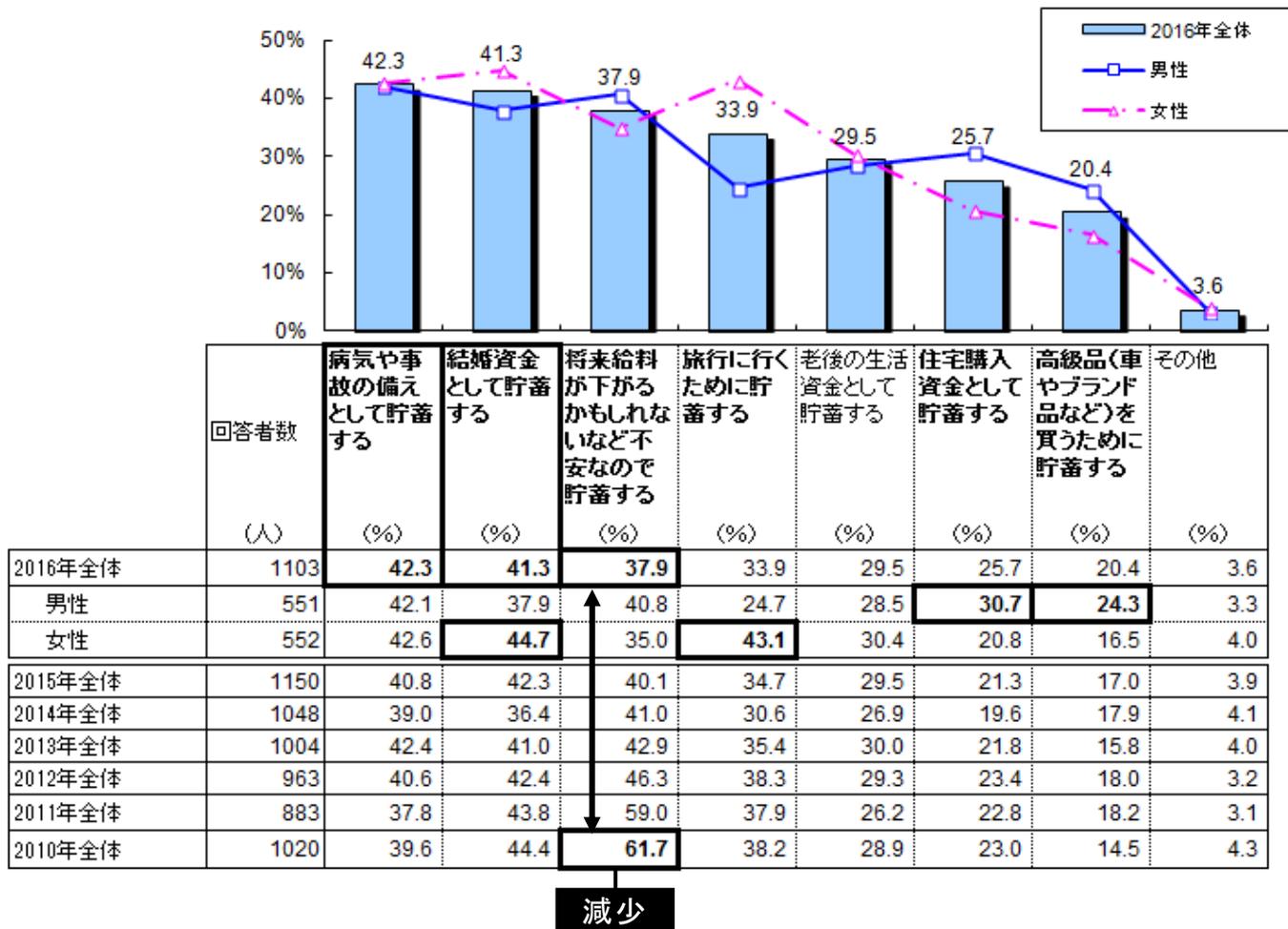


### ■ 1ヵ月当たりの平均貯蓄目標額

|    | 2010年   | 2011年   | 2012年   | 2013年   | 2014年   | 2015年   | 2016年          |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------------|
| 全体 | 47,099円 | 48,508円 | 48,434円 | 47,637円 | 49,601円 | 51,025円 | <b>53,342円</b> |
| 男性 | 47,976円 | 48,673円 | 48,617円 | 48,368円 | 50,439円 | 53,243円 | 54,300円        |
| 女性 | 46,252円 | 48,337円 | 48,253円 | 46,909円 | 48,748円 | 48,803円 | <b>52,380円</b> |

過去最高額を更新。女性も初の5万円台

■貯蓄をする理由（複数回答）



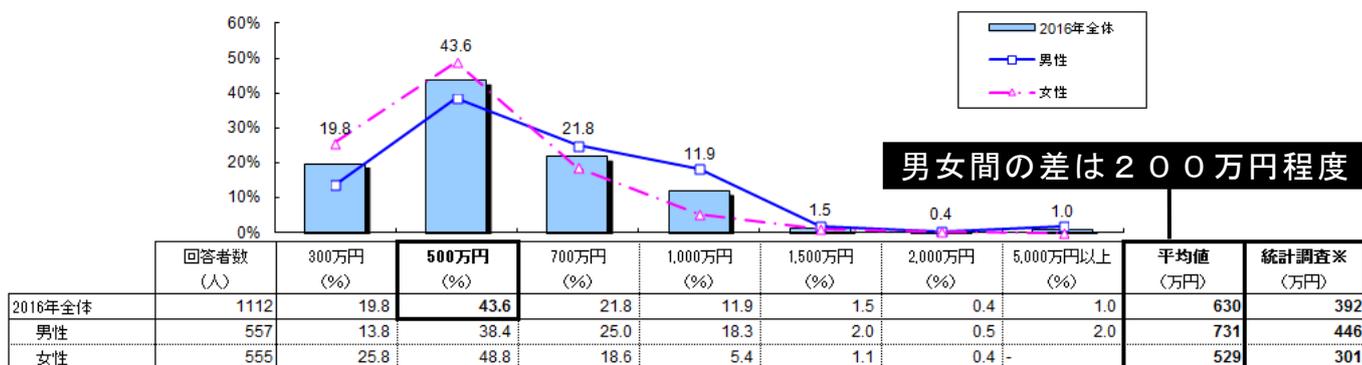
### (3) 目標年収

30歳時点の目標年収は630万円、将来の目標年収は1,207万円！  
 将来の目標年収は男女間で500万円の大きな開きが！！

- 30歳時点および将来の目標年収を聞いてみました
- 30歳時点の目標年収は「500万円」（43.6%）が一番多く、平均値（※）は630万円になりました  
 （※）「5,000万円以上」を5,000万円として計算
- 将来の目標年収は、男性は「1,000万円」（33.9%）、女性は「700万円」（33.0%）が一番多く、平均値は1,207万円になりました
- 30歳時点の目標年収の平均は男性が731万円に対し、女性は529万円と男女間の差は200万円程度でしたが、将来の目標年収の平均では、男性が1,471万円に対し、女性は943万円と500万円以上の大きな開きになっています
- 実際の30代前半の平均給与が392万円、最も平均給与が高い50代前半が496万円（国税庁：平成26年分 民間給与実態統計調査）であることを踏まえると、理想と現実にはやや乖離があるようです

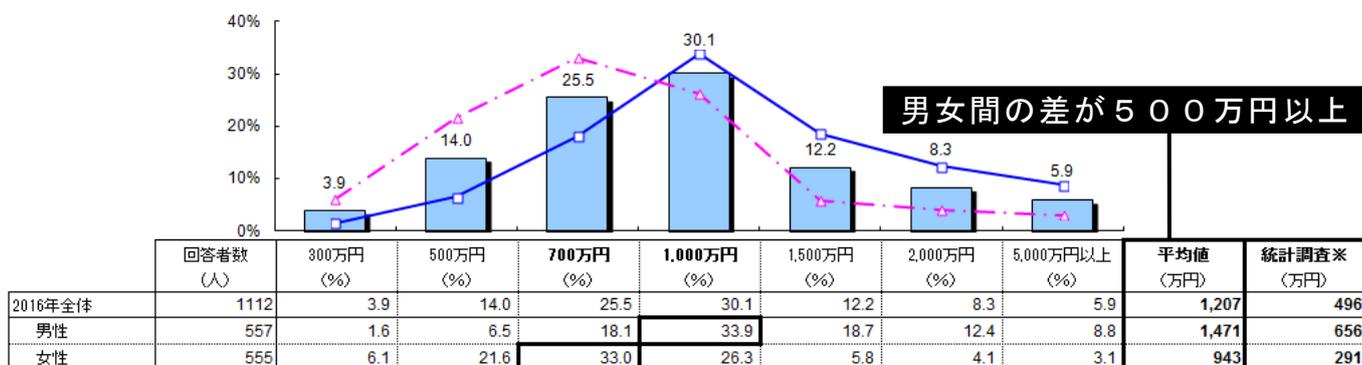
#### ■ 目標年収

##### ● 30歳時点の目標年収



※国税庁 平成26年分 民間給与実態統計調査  
 年齢階層別の給与額 30～34歳

##### ● 将来の目標年収



※国税庁 平成26年分 民間給与実態統計調査  
 年齢階層別の給与額 50～54歳